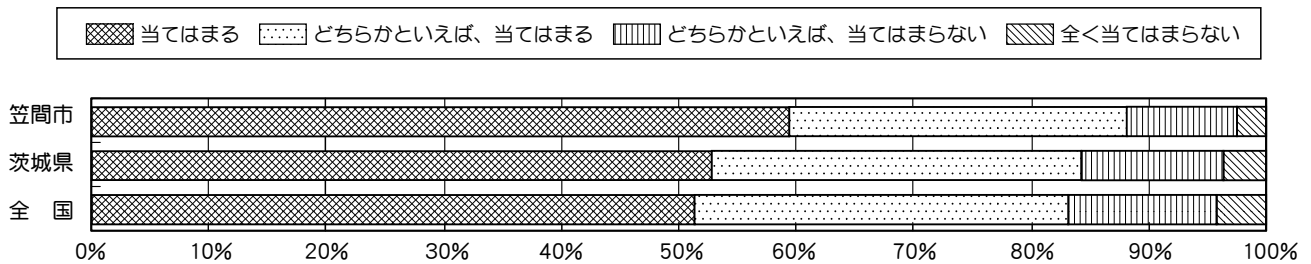


## 《中学校の概況》

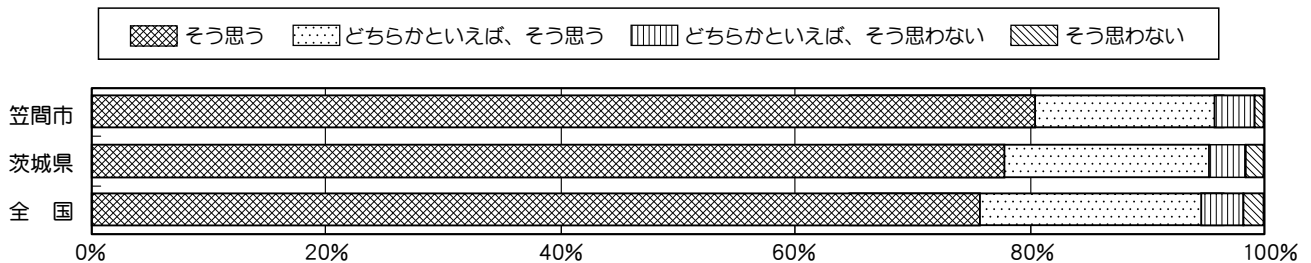
全国・茨城県と比較して、同程度かよい結果が得られました。特に、「あいさつ」や「友だち」に関する項目はよい傾向でした。一方、家庭学習や宿題に関する項目はやや低い傾向にありました。

### 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。



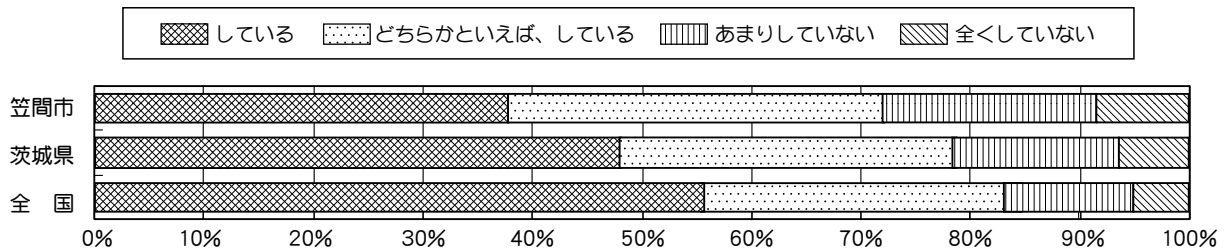
○全国・茨城県に比べて、近所の人によくあいさつできる生徒の割合が高い。

### 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。

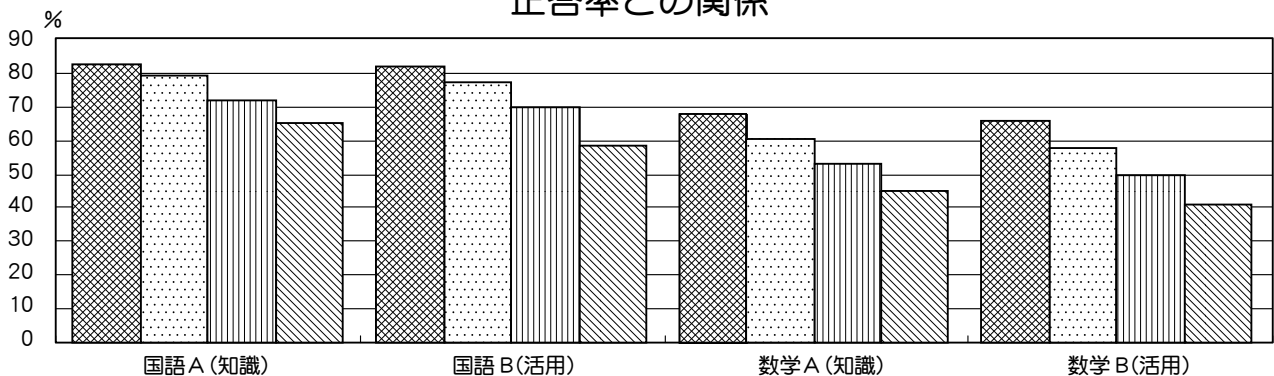


○全国・茨城県に比べて、学校で友達に会うのは楽しいと思っている生徒の割合が高い。

### 家で学校の宿題をしていますか。



### 正答率との関係



○全国・茨城県に比べて、家で宿題をしている生徒の割合が少ない。

○家で学校の宿題を「している」と答えた生徒ほど正答率が高い。

# 児童生徒の学力を向上させるためにスローガンを作成しました

## ～平成21年度全国学力・学習状況調査から～

市教育委員会では市内の小中学校の先生と、昨年4月21日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から、児童・生徒の生活・学習状況の課題を踏まえ下記のスローガンを作成しました。

笠間市の傾向としては、小学生では、「携帯電話を持っている児童のテストの正答率が持っていない児童に比べて低い」、「全国に比べて学習用具の準備をする児童の割合が低い」、中学生では、「全国に比べて宿題をする割合が低い」という課題が明らかになりました。グラフは、その状況を表したもので、質問事項とテストの正答率の関係を表しています。学校と家庭の連携を深め、スローガンの実現に努めていきます。詳しくは、教育委員会のホームページをご覧ください。

**小学生：「きめられたルールはきちんと守ろう。前日に学習の準備をしよう。」**

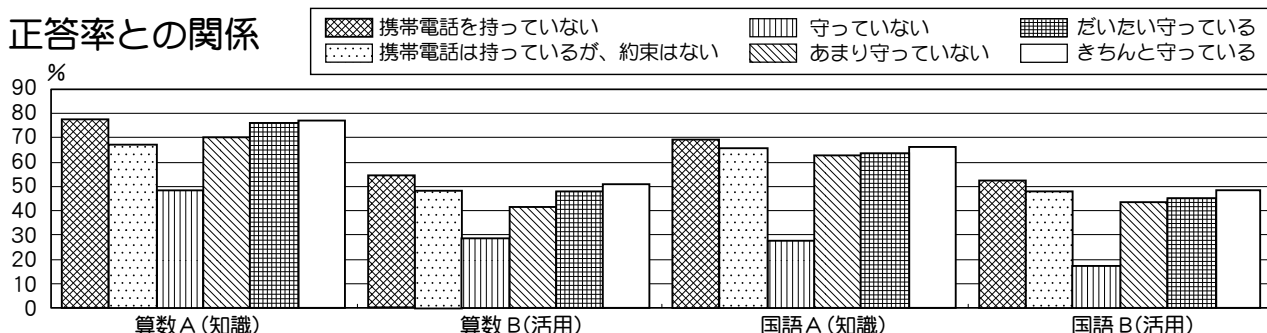
**中学生：「家庭学習(宿題や課題)は、しっかりやろう」**

### 《小学校の概況》

市内の児童の回答の傾向は全国や茨城県と同様でした。しかし、携帯電話のルールを守っている児童の割合は全国より低い傾向にありました。さらに、学校に持っていくものを前日に準備している児童の方がテストの正答率が高い傾向にありました。

### 携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

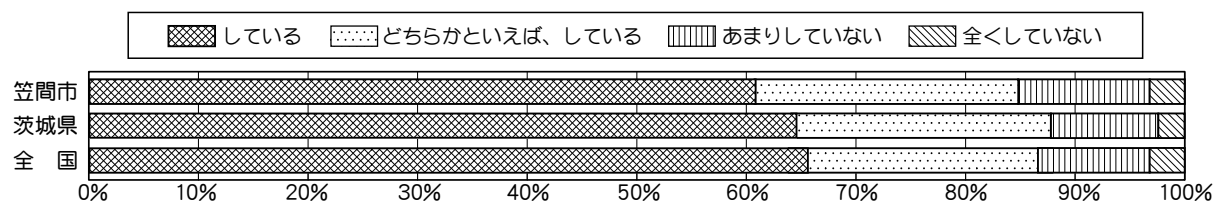
#### 正答率との関係



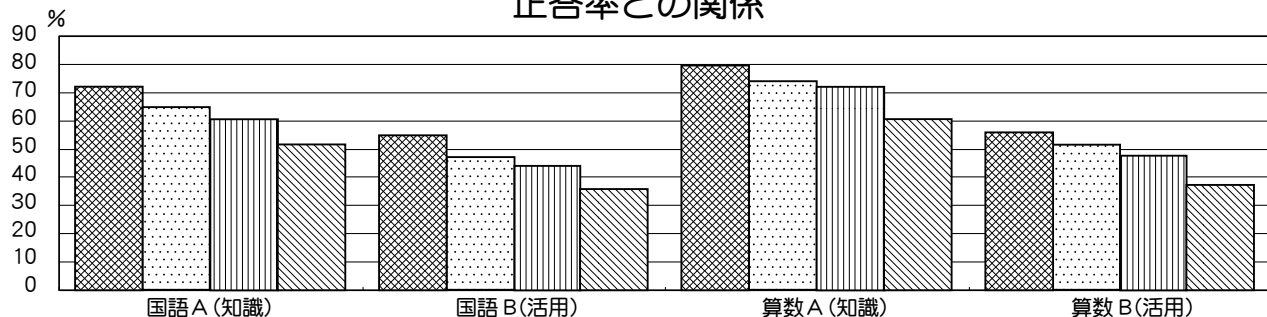
○「きちんと守っている」や「だいたい守っている」と回答したグループの正答率が高い傾向にある。

○どのテストでも携帯電話未所持のグループが、所持するグループより正答率が高い。

### 学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。



#### 正答率との関係



○学校に持っていくものを前日に用意する児童の割合が、全国、茨城県よりも低い。

○国語・算数ともにA・B問題の正答率が、「準備をしている」と答えている児童の方が高い。